

議 事 録

会 議 名	令和4年度 第2回 教育課程編成委員会
日 時	令和5年2月17日(金) 15:00~17:00
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 31・32教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 小松原 学、金沢 ちかこ、小坂田 昌広、岩尾 美穂、 田中 由之(欠席) [関係職員] 中村 聖吾、平上 秀明、原 充介、戸澤 まり子、 中島 征治、吉田 知恵(司会)、中本 小百合(写真)、 唐木 恵美(記録)、松本藤子(欠席)
内 容	1. 令和4年度 第2回 教育課程編成委員会 司会の吉田 知恵職員が開会を宣言し、第2回教育課程編成委員会が開会した。 (ア) 学校長挨拶 中村 聖吾校長から前回の教育課程編成委員会以降の学校運営について報告があった。 ・10月3日(月)から授業開始。 ・転科者について 合計4名。 建築学科1名⇒インテリアデザイン科へ 住宅デザイン科2名⇒インテリアデザイン科へ インテリアデザイン科1名⇒建築学科へ ・富士教育訓練センターでの建築施工実習について 10月3日(月)~7日(金)、3年ぶりに現地で実施。 (建築学科、住宅デザイン科1年生対象) ・秋のイベントについて 10月27日(木):1、2年生合同発表会を実施。 29日(土)30日(日):生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪に参加。学生見学研修を実施。本校1号館も一般公開。(116名ご来場) ・教育懇談会について

	<p>11月14日（月）～18日（金）：20組の保護者が参加。</p> <ul style="list-style-type: none">・研究科国内建築研修について 11月8日（火）～10日（木）：3年ぶりに実施。（28名参加）・スポーツ大会について 11月22日（火）：服部緑地陸上競技場にて実施。（150名参加）・令和4年度卒業成果制作発表会について 2月14日（火）・15日（水）：ZOOMによるライブ配信の他、3年ぶりに有観客（1年生のみ）での実施とした。・令和4年度二級建築士試験結果について 設計製図：25人受験、12名合格。合格率：48.0% 最終結果：32人受験、12人合格。合格率：37.5%（全国25%） （昨年度本校合格率：設計製図：61.5%、最終結果：32%）・令和4年度一級建築士試験合否結果について 研究科1名、二級建築士試験と共に合格。 <p>（イ）配布資料の確認 司会の吉田 知恵職員から、本日の配布物の確認を行った。</p> <p>（ウ）令和4年度の教育内容について 戸澤 まり子学科長より、令和4年度の建築系の教育について報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none">・軽井沢研修（代替研修）について ワークショップ、見学会、コースランチ付マナー研修を実施。・建築施工実習について 新型コロナウイルス感染対策をし、富士教育訓練センターにおいて実施。・秋のイベントについて 最終日に、海外で活躍されていたランドスケープデザイナーと本校非常勤講師のエクステリアデザイナーによるトークライブを実施。・スポーツ大会について ミニ運動会形式でクラスごとにチーム対抗で実施。 MVP賞として個人も表彰。・令和4年度一級建築士受験について 一年前に模擬試験を実施。 学科については、授業後に質問時間を設けるなどして対応。
--	---

	<p>設計製図については、個別指導を中心に 10 回の対策授業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究科学生へのアンケートについて 『二級受験後、後期に一級の対策授業を受けたいですか?』 27 名中 19 名が『はい』と回答。 今後、学生のニーズに応えるように考えていきたい。 ・ 研究科国内建築研修について 例年、3 泊 4 日のところを 2 泊 3 日に短縮し、新型コロナウイルス感染対策の下、実施。 ・ 令和 4 年度卒業成果制作発表会について 2 月 14 日（火）：1 年生 7 名、研究科 13 名発表。 2 月 15 日（水）：2 年生 13 名発表。 ・ 後期における新型コロナウイルス感染対策について 出来る限りの感染対策を行った上で対面授業を継続。(体調不良による欠席者に) Zoom によるオンライン対応も継続。感染疑いによる公欠（出席停止）も認めたが、授業に遅れをとる学生も一定数いる状況。 ・ 新型コロナウイルス感染防止策の変化に関して 宿泊を伴う行事を可能とした。体験型の研修などもあり、学生の満足度も高いように見受けられた。 ・ 対面でのコミュニケーションやプレゼンテーションスキルの低下について オンラインや非対面が日常的となり、行事に参加しない学生や安易に授業を欠席する学生が増えたと感じる。 ・ 研究科における二級建築士試験結果及び資格取得について 不合格者の内 2 名は出席率と課題の提出率がほぼ 100%であった。今後、更に指導を強化する必要がある。その他の不合格者について、学科で燃え尽きる様子が見受けられた。 ・ 次年度に向けて オンライン授業や個々の自宅学習のみでは、学習効果や成果の上がない学生が見られた。学校が楽しく学ぶところであると思ってもらえるよう、行事についても工夫が必要。学生の安易に投げ出さず困難を乗り越える力が不足しており、支えとなる仲間作りが出来る行事は重要である。 また、今後もオンラインの効果的な活用方法を模索する。
--	--

(エ) 令和4年度卒業成果・制作発表会発表作品の見学

平上 秀明教務部長より建築学科の作品説明、吉田 知恵職員より住宅デザイン科の作品説明、唐木 恵美職員よりインテリアデザイン科の作品説明を行った。

(オ) 意見交換

【小松原 学委員】

- ・一級建築士試験合格、良かった。アンケートを取られて、一級建築士試験の勉強をしてみたいという学生が多くいることは素晴らしい。芽を摘まないことが大切。
- ・令和4年度卒業成果制作発表会について、新型コロナのことがあったが、学生も先生も最後までやり抜こうとする思いを感じた。
- ・言葉の使い方、コンプライアンスの問題、(富士教育訓練センターでも)先生方全員と面談した。
- ・権利だけを主張するのではなく、義務を理解することも大切。
- ・新型コロナウイルスについて、5類に分類される予定であるが感染症であることに変わりはなく、対応は学校の責務であることに変わりはない。

【金沢 ちかこ委員】

- ・卒業成果制作発表会について、入学からずっと新型コロナウイルス感染症真っ只中の世代、何も知らない学生を少ない時間であそこまで。素晴らしいと思う。オンラインでもあそこまでできるなら、工夫して、科をまたいで視聴できるなどしても面白い。
- ・他の大学の卒業制作でも身近な問題をテーマにしている学生が多く、この学校も同じ。若い世代はすごいと感じている。
- ・一級二級建築士試験同時合格について、学校の強みになるのでは。

【小坂田 昌広委員】

- ・新型コロナウイルスについて、今後は各々が自主的に判断しなければならないようになる。学校はよく考えられている。
- ・卒業成果制作発表会について、見る人が興味を持つ、取り組む人が興味を持つ、が大切。
- ・プレゼン力について、少し低下したとの話もあったが、去年は高い印象だった。個性を上手に伸ばすことが大切。

【岩尾 美穂委員】

・クラスの中に上昇スパイラルを巻き起こせるような、全体の雰囲気を持ち上げる力のある学生がいて、他の学生も良い方向に導かれる。一級・二級建築士試験同時合格者が出て、周りにも影響があったのは、上昇スパイラルの良い例。

【平上 秀明教務部長】

・建築学科の卒業制作を見ていると、今年は時間が厳しくなると安易に規模を縮小したり、自分の力では無理とあきらめてしまったりする学生が多かった。新型コロナウイルスの影響もあるのか？他の環境でも同じような状況になっているのか伺いたい。

【岩尾 美穂委員】

・オンライン前には、質問などが積極的だった。授業が終わっても帰らせてもらえないくらい。今は、質問はチャットで。自分から発信できない学生が増えたと感じている。

【平上 秀明教務部長】

・本校でも放課後に質問に来る学生や、残って課題作成などをしたといった要望が減った。

【吉田 知恵職員】

・資格合格率が低下した。

【岩尾 美穂委員】

・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンライン授業になったことで資格合格率が全国的に下がっている傾向がある。オンラインでも決まった時間に入っていない。孤独を感じる学生が多い。

【戸澤 まり子学科長】

・先生も30人や40人の対面授業でファシリテーションすることは慣れているが、同じ数でもオンライン授業の場合は慣れていない。そこに対する対策を考えていかなければいけない。参加意識が低い学生が増えた印象もある。

【小松原 学委員】

- ・企業が注視しているのは、『コミュニケーション能力』
- ・若い世代は、皆の前で意見を言わないが、個々で話すとしっかりとした意見を持っている。その意見をいかに引き出すかが課題。
- ・コロナで死んだ部分もあるが、生まれたものもあるはず。

【金沢 ちかこ委員】

- ・近年、SNS でのコミュニケーションのみで家が一軒建つようになっている。SNS と対面での温度差を感じる事が多い。対面に抵抗がある人が増えている印象。

【吉田 知恵職員】

- ・会話が苦手な学生が多い。

【岩尾 美穂委員】

- ・オンラインの弊害が出てきている。

【中村 聖吾校長】

- ・コロナでいろいろなことが変化している。対応を考えていかなければならない。
- ・いいクラスをつくるにはオンラインではやりにくいこともある。

2. 閉会の辞

中村 聖吾校長が閉会の宣言を行い、第 2 回教育課程編成委員会
が閉会した。

【配付資料一覧】

- ・令和 4 年度第 2 回教育課程編成委員会 次第
- ・令和 4 年度建築系の教育について
- ・令和 6 年度入学者用学校案内

以上